

異子女王、並從四位下、從四位下伴宿禰友子。從四位上、無位源朝臣盈姬。從四位下、從五位上、菅原朝臣閑子。甘南備真人伊勢子。並正五位下、從五位下、田口朝臣館子。菅原朝臣勢子。並從五位上、外從五位下、賀陽朝臣始子。無位源朝臣高子。橘朝臣常子。藤原朝臣繼子。藤原朝臣商子。藤原朝臣榮善子。百濟王香春。笠朝臣遠子。並從五位上、從六位上、江沼臣河子。從五位下。

〔建内記〕嘉吉元年十月十七日庚戌、今日予時房藤原息女九歲、號阿千也、於靈雲庵安樂光院門前也作喝食。

〔德川家譜尾張〕光友

—女子 名定子、初名滿君。中略

—女子 名直子。

〔大和物語上〕亭子のみかど多宇いまはおりる給ひなんとするころ、弘徽殿のかべに伊勢のごのかきつけ、る。下略

〔本朝文粹雜詩〕慰小男女

往年見窮子、京中迷失據。中略徒跣彈琴者、閭巷稱辨御。俗謂貴女爲御、蓋取夫人女御之義也。藤相公兼辨宜、故稱其女也。菅贈大相國道眞原

〔大和物語上〕故式部卿の宮の、いではの御に、ま、ち、の少將、すみけるをはなれて。下略

〔平家物語六〕葵のまへの事

中宮高倉后の御かたに候はれける女房のめしつかひける上童、思はざる外、れうが高倉に、しせきする事有けり。中略此人女御きさき共もてなされ、國母仙院ともあふがれなんすとて、其名をあふひのまへと申ければ。下略

〔吾妻鏡二〕養和二年元壽永六月一日庚子、武衛賴朝以御寵愛妾女前號龜招請于小中太光家小窪宅

給、

〔吾妻鏡九〕文治五年九月廿七日甲申、二品源賴朝歷覽安倍賴時本名賴義也衣河遺跡給。中略賴時掠領國

給、